

静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科  
 大気環境研究室  
 (雨谷 敬史 教授, 三宅 祐一 助教, 徳村 雅弘 特任助教)

安心して暮らせる大気・室内環境を目指して

静岡県立大学 食品栄養科学部の大気環境研究室には教員3名, 博士課程学生2名, 修士課程学生1名, 学部学生3名, 研究員1名の計10名が在籍しています(平成29年3月 現在)。

研究室はアットホームな雰囲気です。先生と生徒の距離が近く、日々ディスカッションしながら勉強や研究を行っています。研究以外の時間では、一緒にお昼ごはんを食べたり、約月1回のペースで行われるイベントでは先生方も一緒に楽しんだりしてメリハリのある毎日を送っています。

当研究室がテーマとして取り扱っている大気は、人が生活していくうえで必要不可欠な存在であると同時に、近年では、自動車排ガスに起因するPM<sub>2.5</sub>やNO<sub>x</sub>などの化学物質による大気汚染、またそれに付随する健康リスクも問題視されています。そこで私たちの研究室では、大気環境および室内環境における有害化学物質汚染や健康リスクについて、問題の発見からその問題の影響評価、そして、解決方法の発案まで包括的に取り組んでいます。

研究内容としては、室内環境中における難燃剤の定性・定量、多環芳香族炭化水素類(PAHs)に加えてハロゲン化PAHs・VOCの分析法の開発などを行っています。

具体的なテーマとしては、「室内環境中の未規制物質の網羅的解析に関する研究」、「ハロゲン化多環芳香族炭化水素類とその誘導体の網羅的同定とリスクスクリーニング」、「廃棄物の焼却処理に伴う化学物質のフローと環境排出量推計に関する研究」などを中心に行っています。

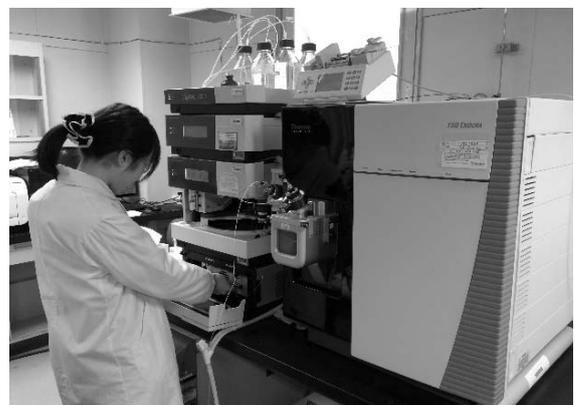
また、分析機器も充実しており、GC-MS、LC-MS/MS、高分解能GC-MS、GC-MS/MS、HPLCなど様々な機械に触れることができます。

安心・安全な生活を送っていくために、より精度の高い分析を目指して、時には楽しく、時には厳しく互いに高めあいながら、やりがいのある研究室生活を送っています。環境分析を通して、日常生活における化学物質の曝露やそれによるリスクの低減への貢献を目指していきたいです。

(学部3年生 寺尾 琴音, 古川 美乃里, 増田 美里)



研究室メンバーの誕生日会の様子



LC-MS/MSを用いた実験の様子